

喜寿を迎えて 母校を誇りに…

斉藤 忠四郎 (昭和32年機械科卒)



昔風に言えば、数えの77歳、めでたく喜寿を迎えました。この機に、高校時代のこと、会社生活のこと、そして、これまでの年月の有った様々なことを、思いつくままに記してみたいと思います。

《高校時代》

小生の生砂(きずな、語源：鋳物に用いる砂)は、「国定公園鳥海山」の北西麓で、出身校は上郷中学校です。昭和29年、我が中学校から、秋田工業に3名が合格しました。

小生は秋工に入って初めてラグビーというスポーツの存在を知り、そして秋工ラグビー部は、全国でも屈指の強豪校であることを知り、改めて秋工に入学したことを誇りに思いました。

機械科の同級生には、NHKラジオのど自慢大会(於：記念館)で鐘を3つ鳴らした人、全校生徒会長に当選した人、そして陸上400m走で全県2位になった人等がいて、多士済々でした。そのような仲間たちから強烈な刺激を受けつつ、楽しく充実した高校生活を送りました。

《会社生活》

昭和32年3月、希望に胸を弾ませて夜行列車・鳥海で上京し、東京都江東区の日立金属(株)深川工場に入社して、社会人としての第一歩を踏み出しました。以来定年まで、主として生産設備管理の仕事を担当して来ました。

当時工場には秋工の機械科を昭和6年に卒業した大先輩が1人おられました。彼からは、学ぶべき点が沢山あったはずなのに、淡々とした交流止まりだったことが、今では悔やまれます。

昭和30年代には富士山を始め、長野県の浅間山や槍ヶ岳へ職場の仲間と登ったことがあり、今では登れたことが驚きです。

昭和50年には、当時東京都が公害型企業の都外への転出を強力に推進していたのに合わせて、当工場も栃木県真岡市に移転しました。小生も60歳で定年退職するまでそこで働きました。

《定年退職～現在》

定年退職直後にアメリカ西海岸の旅行ツアーに参加し、見聞を広めました。また、42歳から始めたゴルフ・自然観察・油絵、そしてカラオケと自分の好きなことで、しかもできそうなことに熱中する日々を過ごしています。特にゴルフは、東京秋工会ゴルフ会に平成10年から仲間入りさせてもらっています。



また、定年退職後の年月で特に印象に残っているのは、4年前の3月11日の東日本大震災です。真岡市も震度6強と、あのときとしては最大級の震度に見舞われ、我が家も屋根瓦や壁に大きな損害をこうむりました。幸い会社当時加入していた、自然災害補償付きの火災保険のおかげで助かりました。

そして喜寿になって二つの新たなことが始まりました。一つは昨年11月に体調を崩し、大学附属病院での連続検査を体験し、今はセカンドオピニオンに従っているところです。1年生にして早、隙があれば逃げ出したい気持ちです。もう一つは、3月に東京秋工会民謡同好会に入会を許されたことです。同県人・同窓生ばかりの会なので、秋田県人魂やラグビー精神がかすかに醸し出されて楽しい限りです。

《いま大切にしたいこと》

今最も大切にしたいと思うことは、自分の健康や病気については、自意識過剰タイプの人にならないよう心して、時々刻々押し寄せる荒波に流されないよう、社会への自らの適応を図っていこうということです。

一方趣味については、発表会があれば極力参加し、日頃はテーマ毎の補助線と目標像を臨機応変に描き替えながら、楽しんで行きたいと思っています。そうすればきっと、偶然の神がもたらす啓示、セレディピティ(Srendipity)に、ひとつ、ふたつと出会えるであろうとの夢を持って、「継続は力なり」を実践していきたいと思っています。

そして、妻、小生と同じ真岡市内在住の2人の子ども、3人の孫たちとの生活を大切にしながら、地に足を着けて、今後の人生を生きていきたいと思っています。



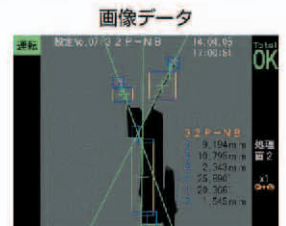
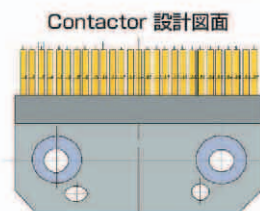
東京都庁前で

株式会社 オー・ティ・ティ・エス OTTS CO.,LTD

IC等の測定端子 Contactorの製造、販売



- 製品の特徴
- ① 設計から納入まで Turn-Key Service
 - ② 長寿命 Long Life / 14Pin で200K回の実績
 - ③ 高品質 全て Made in Japan の材料と Process



代表取締役 田中 誠悦 (昭和32年工業化学科卒)

〒193-0834 東京都八王子市東浅川町211-6
TEL : 042-666-1927 FAX : 042-664-7909